



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月9日

上場会社名 ASTI株式会社  
コード番号 6899 URL <https://www.asti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 波多野 淳彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営本部総務部長 (氏名) 仲原 功

TEL 053-444-5111

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	41,083	34.8	271		35		130	
2021年3月期第3四半期	30,475	11.2	219	75.0	355	66.6	169	81.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 337百万円 (92.8%) 2021年3月期第3四半期 174百万円 (71.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	41.90	
2021年3月期第3四半期	54.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	41,885	18,056	43.1
2021年3月期	34,733	17,938	51.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 18,041百万円 2021年3月期 17,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		70.00	70.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	28.3	0		150	89.1	50	96.4	15.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、本日(2022年2月9日)公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	3,417,006 株	2021年3月期	3,417,006 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	290,723 株	2021年3月期	290,723 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	3,126,283 株	2021年3月期3Q	3,126,371 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因に大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン普及により経済活動の回復が進んだ一方、変異株による感染の再拡大により、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が継続いたしました。また、世界的な半導体を始めとした材料不足、原材料価格・物流費の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいてもベトナムにおいて、政府による防疫上の措置による工場の操業制限が続いておりましたが、10月中旬にようやく解除され、生産活動が回復してまいりました。ベトナムにおいて生産活動が制限された期間中は、日本、インド、中国などの拠点において代替生産を実施いたしました。引き続き、客先に対する製品供給の安定化のための取り組みを継続してまいります。また、中期計画(VISION2025)の初年度として重点事項の実現に向けても、継続して取り組みの強化に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、各セグメントにおいて販売が増加したことにより、売上高は41,083百万円(前年同期比34.8%増)となりました。売上は増加となりましたが、ベトナム工場のロックダウンによる日本・その他の拠点における代替生産のための経費発生等により、営業損失271百万円(前年同期は営業利益219百万円)、経常損失35百万円(前年同期は経常利益355百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益169百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より7,152百万円増加し、41,885百万円となりました。生産拠点の変更、物流網の混乱に備えた在庫の積み増しなどにより、原材料及び貯蔵品が増加(前連結会計年度末と比較して3,978百万円増)したこと等が主な要因であります。負債は、前連結会計年度末より7,033百万円増加し、23,828百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加(同873百万円増)、短期借入金の増加(同4,155百万円増)及び長期借入金の増加(同1,821百万円増)等が主な要因であります。純資産は、前連結会計年度末より118百万円増加し、18,056百万円となりました。為替換算調整勘定の増加(同496百万円増)及び利益剰余金の減少(同349百万円減)等が主な要因であります。

なお、自己資本比率は43.1%となり、前連結会計年度末と比較して8.5ポイント減少しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2021年9月29日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年2月9日)公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,194,339	2,103,512
受取手形及び売掛金	8,107,180	8,748,382
電子記録債権	3,001,417	2,783,948
商品及び製品	1,132,594	1,784,490
仕掛品	890,942	1,453,712
原材料及び貯蔵品	5,422,006	9,400,081
その他	643,669	1,987,581
貸倒引当金	△792	△718
流動資産合計	21,391,357	28,260,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,917,847	10,215,260
減価償却累計額	△5,692,141	△5,987,145
建物及び構築物 (純額)	4,225,705	4,228,115
機械装置及び運搬具	10,304,770	11,180,751
減価償却累計額	△6,954,877	△7,776,561
機械装置及び運搬具 (純額)	3,349,893	3,404,189
土地	2,765,093	2,771,507
その他	5,070,335	5,415,542
減価償却累計額	△3,898,511	△4,073,373
その他 (純額)	1,171,823	1,342,169
有形固定資産合計	11,512,515	11,745,981
無形固定資産	742,811	780,737
投資その他の資産		
投資有価証券	739,260	701,223
繰延税金資産	137,559	184,276
その他	211,531	213,841
貸倒引当金	△1,999	△1,999
投資その他の資産合計	1,086,351	1,097,341
固定資産合計	13,341,678	13,624,060
資産合計	34,733,036	41,885,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,576,700	5,450,462
短期借入金	4,465,954	8,621,698
未払法人税等	181,554	4,093
賞与引当金	458,029	481,664
製品保証引当金	10,759	12,608
その他	1,452,043	1,746,877
流動負債合計	11,145,041	16,317,403
固定負債		
長期借入金	5,340,213	7,161,368
退職給付に係る負債	89,304	105,685
その他	219,965	243,666
固定負債合計	5,649,484	7,510,720
負債合計	16,794,525	23,828,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,476,232	2,476,232
資本剰余金	2,640,082	2,640,082
利益剰余金	12,917,288	12,567,453
自己株式	△417,411	△417,411
株主資本合計	17,616,192	17,266,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	405,722	375,292
為替換算調整勘定	△97,274	399,609
その他の包括利益累計額合計	308,447	774,902
非支配株主持分	13,870	15,668
純資産合計	17,938,510	18,056,927
負債純資産合計	34,733,036	41,885,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	30,475,688	41,083,783
売上原価	27,861,921	38,311,366
売上総利益	2,613,767	2,772,416
販売費及び一般管理費	2,393,919	3,043,892
営業利益又は営業損失(△)	219,847	△271,475
営業外収益		
受取利息	23,850	21,548
受取配当金	10,024	11,245
為替差益	—	190,216
補助金収入	32,294	54,246
助成金収入	66,022	1,021
保険解約返戻金	9,775	20,606
その他	68,756	27,313
営業外収益合計	210,724	326,199
営業外費用		
支払利息	49,634	53,814
為替差損	13,064	—
支払補償費	—	22,536
その他	12,190	13,477
営業外費用合計	74,889	89,829
経常利益又は経常損失(△)	355,682	△35,105
特別利益		
固定資産売却益	4,378	1,214
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4,382	1,214
特別損失		
固定資産処分損	39,943	20,953
特別損失合計	39,943	20,953
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320,121	△54,843
法人税等	152,815	74,628
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,305	△129,471
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,544	1,522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	169,849	△130,994

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,305	△129,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162,606	△30,429
為替換算調整勘定	△154,981	497,158
その他の包括利益合計	7,624	466,729
四半期包括利益	174,930	337,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,872	335,459
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,942	1,797

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、商品又は製品の国内販売においては、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時において収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これにより、当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,212,568	9,767,712	9,414,937	30,395,218	80,470	30,475,688
セグメント間の 内部売上高又は振替高	210,045	26,210	30,755	267,010	63,730	330,740
計	11,422,613	9,793,922	9,445,693	30,662,229	144,200	30,806,429
セグメント利益又は損失(△)	3,160	403,338	△20,513	385,985	△199,133	186,851

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	30,475,688
セグメント間の 内部売上高又は振替高	△330,740	—
計	△330,740	30,475,688
セグメント利益又は損失(△)	32,995	219,847

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額32,995千円は、全社費用配賦差額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,233,181	14,444,732	14,317,142	40,995,056	88,727	41,083,783
セグメント間の 内部売上高又は振替高	355,867	77,239	55,772	488,879	99,565	588,444
計	12,589,048	14,521,972	14,372,915	41,483,935	188,292	41,672,228
セグメント利益又は損失 (△)	86,923	483,778	△647,678	△76,976	△219,984	△296,960

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	41,083,783
セグメント間の 内部売上高又は振替高	△588,444	—
計	△588,444	41,083,783
セグメント利益又は損失 (△)	25,485	△271,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額25,485千円は、全社費用配賦差額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。